

## 単元名 (旧)自分たちの生活の場を飾ろう(デザインや工芸)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 形や色彩, 材料を工夫しながら見通しをもって創造的に表現することができる。  
 (2) 伝えたい内容や機能, 生活をする者の気持ちなどを基に構想を練ることができる。他者の意見に耳を傾けたり, 自らの考えを主張したりすることで表現の可能性と環境に与える美術の働きやその力について考えを深めることができる。  
 (3) 創造活動の喜びを味わい, 目的や機能を考えながら協調性を発揮し, 共同制作に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

12270304\_001

【準備等】教科書, ワークシート, ポスターカラー, 画用紙, セロハンテープ

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 グループで「みんなが“安らぐ生活空間”」のイメージを考える。  <b>★</b>身近な環境や空間を生かした演出やデザインにはどのようなものがあるのだろう。          ○参考作品を鑑賞し, 感じたことを自分の言葉で具体的に文章にしたり発表したりする。</p> <p><b>★</b>「みんなが“安らぐ生活空間”」をつくろう。          ○「みんなが“安らぐ生活空間”」はどこにつくればよいのか考える。</p> <p>○「みんなが“安らぐ生活空間”」を表現するための方法を文章やスケッチにまとめる。</p> <p>2 下絵を完成させる。  <b>★</b>下絵を完成させよう。          ○グループでアイデアをまとめて下絵を描く。</p> <p>3～4 それぞれの作品を着彩し完成させ, 校舎内に設置する</p> <p><b>★</b>制作, 設置しよう。          ○作品を工夫して組み立て, 校舎内に設置する。</p> <p>5 完成した作品を鑑賞する。  <b>★</b>作品を批評してみよう。          ○ワークシートを使い, 作者の願いや創造的な工夫について批評し合う。</p>	<p>・美しさや目的, 機能に着目させ意見を積極的に発表させる。  <b>【評】</b>美しさや目的, 機能を考えながら感じたことを積極的に発表することを通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・「みんなが“安らぐ生活空間”」を制作するために必要なものを考えさせる。          ・設置する場所を決定させる。(階段, 天井, 窓ガラス, 中庭, 壁面)          ・伝えたい内容を意識しながら発想・構想をさせる。          ・互いの意見を交換したり協調したりする。さらに, 自己主張する中で主題を決定させる。  <b>【評】</b>伝えたい内容や生活をする者の気持ちなど“安らぐ生活空間”を考えた構想を練ることを通して, 「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・全体のデザインが決定したらグループごとに下絵の制作をさせる。</p> <p>・形や色彩, 材料の特徴が校舎内のさまざまな空間にどのような影響を与えるかを考えさせる。  <b>【評】</b>形や色彩, 材料や用具を工夫しながら見通しをもって創造的に表現する活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・校舎内に設置された完成作品からどんなメッセージが伝わってくるか, 他者の意見に耳を傾けたり, 自らの考えを確認したりさせる。</p> <p>・創造的な表現の工夫について批評し合うことで, 表現力の向上を目指す。  <b>【評】</b>表現の可能性と環境に与える美術の働きについて互いの考えを批評し合う活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。</p>

## 【備 考】

本単元は, 卒業を迎える3年生を対象に実施する。共同制作で学校環境を自分たちの手で居心地のよい空間に変える計画を立てさせたい。そして, 一緒に生活する者の気持ちを考える視点の大切さや, 美術が与える影響や働きを理解させたい。

言語活動としては, 完成作品からどんなメッセージが伝わってくるか他者の意見に耳を傾けたり, 自らの考えを確認させたりし, 創造的な表現の工夫について話し合ったり, 批評し合ったりさせるとよい。

関連として「デザインで変える現在と未来」教科書下P. 46～P. 47を前時に実施すると公共空間への理解が深まる。

ここでは平面作品を例にした。本単元を6時間完了で展開する場合は, 立体作品で校内を装飾する。その際, 試行錯誤しながら, 空間より効果的に演出できるようそれぞれの分担作品の組み合わせを工夫させる。